



## ～令和6年度1学期 DASH～



ドキドキの新クラス



みんなで「せーの」で新クラスを見てレッツゴー!

## ～One for All, All for One～ あなたの成長はみんなの成長

学年が変わり、各クラスの担任の先生方がそれぞれの学級への思いを伝えるためにどうしようか悩んでいる姿を横目に、ふと昔先輩に教わった本を思い出しました。



「不揃いの木を組む」は、法隆寺や薬師寺の宮大工を棟梁(とうりょう)とし、そのもとで働いていた小川 三夫さんの語りで構成されています。

小川さんのお弟子さんたちは寝食を共にし、共同生活を送るのですが、主舎(宿舎の長、寮長のような存在)の方がこんなことを言っています。

「掃除をさせたら、その子の性格がわかる。食事をつくらせたら段取りの良しあしが出る。」

学校でも同じです。掃除の時間、丁寧に取り組む生徒がいます。給食・配膳準備で段取りの良さを見ることができます。

寺社仏閣を建てたり、修復を行ったりする宮大工さんたちが扱う木材はそれぞれ硬度が違い、一直線に真っすぐ伸びている木は一つもなく、それぞれの特徴はまさに千差万別です。ノコギリの無い時代、それらの木材を組み、1000年残る建築物を建てていた技術は驚くばかりです。

人も木材同様、それぞれの良さを上手く組むことができれば、1000年残る組織ができるのかと思うとワクワクします。二之江中の3年生の良さは比類なきものです。その素直さと明るさやその他諸々の良さがうまく組み合わせることができれば一生ものの絆ができると信じています。

一人一人がそれぞれの良さを発揮できる環境をみんなで作っていきましょう。自分が自分らしくいられるのと、同じように、その人がその人らしくいられる環境でないとおかしいです。自分も他者も受け入れること、認めること、敬意を表すことが大事だと私は思います。

建築について話は戻りますが、スカイツリーを建てる際、耐震のために五重塔を参考に心柱（建物の真ん中にいれる中心となる柱）をいれることにしたそうです。修学旅行は古きから良いところを見つける学習をしていきます。伝統について学び、現代社会に生かすことができることは何か、「温故知新」をテーマに探究（探求）しましょう。

## ～DASH DASH DASH!!!～

お題：みんながダッシュできるようなコメント



【みんなの授業を担当する先生方】

※個人名は控えさせていただきました。

国語科	先生（6組担任）	保健体育科	先生 （2組担任／学年主任）
数学科	先生（5組担任）	技術科	先生（1学年担任）
	先生（2学年副担任）	家庭科	先生（3組担任）
理科	先生（1組担任）	音楽科	先生（2学年担任）
	先生（副担任）	美術科	先生（副担任）
社会科	先生（4組担任）	理科／特別支援学級	先生（7組担任）
	先生（1年副担任）	外国語科	先生（副担任）
保健体育科	先生（2学年担任）		先生（講師）

